

■海外でExhibition

■イタリア ナポリ&カプリ島 2008年5月

本学名誉教授の嶋本昭三先生と卒業生が去る5月にカプリ島とナポリに招待され、パフォーマンスと展覧会に参加しました。



100号大サイズのキャンバス数百点を放射状に敷き詰めて制作された嶋本昭三先生の作品。



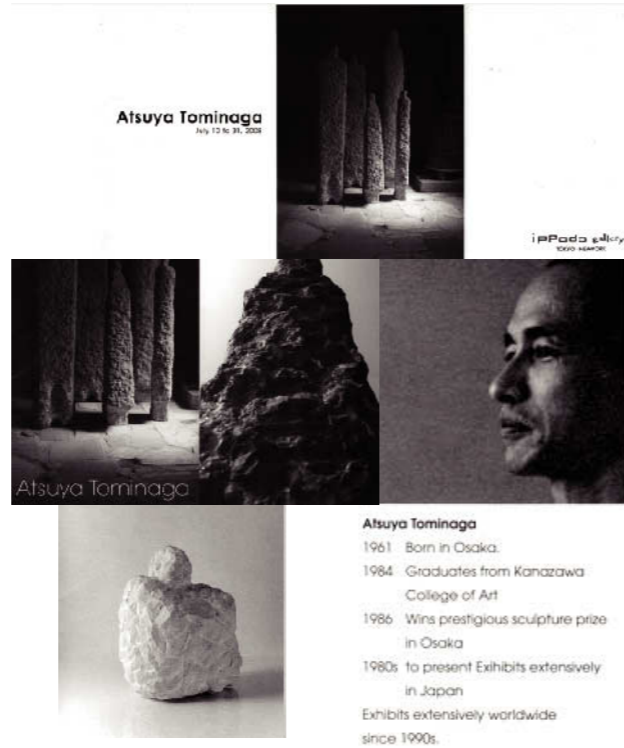
大人気の
高田さん。

高田雄平さん(卒業生)のパフォーマンス。
龍の頭としっぽを新聞紙で表現。

八木智弘さん(卒業生)の作品

■アメリカ ニューヨーク 2008年7月10日~31日

彫刻コースの富長敦也講師が個展をされます。



Atsuya Tominaga
1961 Born in Osaka.
1984 Graduates from Kanazawa
College of Art
1986 Wins prestigious sculpture prize
in Osaka
1980s to present Exhibits extensively
in Japan
Exhibits extensively worldwide
since 1990s.

古代アッティカ杯

—ギリシア美術の比例と装飾の研究—

関 隆志

刊行のことは

本書の目的は、日本ではあまりなじみがないものの、欧米ではギリシア考古学研究の中心テーマのひとつに数えられるギリシア陶器のうち、特殊なプロポーションを示す古代アッティカ杯の形体と装飾画の関係を、わかりやすく解説することにあります。その目的のため、本書は分析を含む解説編と、古代アッティカ杯の図版、そして調査結果を一覧する2つの資料の3部で構成されています。まず、序章で古代アッティカ杯の製作過程、装飾画の種類等について基本的な説明を行い、古代アッティカ杯研究の位置づけが明確にされます。続く第1章から第6章までは、古代アッティカ杯の外面に見られる装飾画法の進歩が解説されます。その際、杯の形体と装飾画が示す有機的な関係を証明することが中心になります。さらに、第7章でそれまでの考察がまとめられ、古代アッティカ杯の形体、装飾画、さらには、陶工と画家の関係が署名の残る作品をもとに分析されます。

第二部には豊富な図版が提示されます。本書の図版は古代アッティカ杯の理解を視覚的に助けるために重要です。カラー及びモノクロ図版の写真は私が撮影し、モノクロ写真は自分で現像して焼付けました。モノクロ図版には古代アッティカ杯の側面、内面、そして外面の写真を原寸の5分の1に縮小して掲載しています。

本書の特色はなんといっても研究資料である古代アッティカ杯の大半が、私自身によって実測された点にあります。そのため、第二部には資料編として、本書の根拠となる古代アッティカ杯の実測値が一覧表とともに示されます。そして、本書の心臓部は測量条件を厳密に照らし、例外を排除した測量マニュアルにもとって集められた古代アッティカ杯の実測資料です。

本書は、伝統を誇る古典考古学の200年を超える歴史に比べれば、まさに大海に水一滴を加えるに過ぎません。しかし、日本の若い研究者の目にとまり、いつの日か、研究資料として活用されることを願ってやみません。

(本書「はしがき」より)

A5以上製本入 本文 300ページ カラー図版 3ページ モノクロ図版 142ページ
定価 15,750円 (本体 15,000円+税)

ISBN 978-4-8055-0576-2 (33071)

中央公論美術出版

http://www.chuokobun.co.jp
〒104-0021 東京都中央区京橋2-8-7 読売ビル5F
電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834



■美術史・美術理論コースの関隆志教授が
研究論文の書籍を出版されました。



—2008年5月刊行—

古代ギリシアの美意識に永らく存在すると考えられてきた「黄金分割」。著者は500点を越す古代アッティカ杯の実測調査からその伝説を否定し、新しく星形五角形を基準とする「魔除けの分割」という比例関係を発見した。欧米の学界をも驚かせた画期的研究を一書にまとめる。

【著者略歴】

関 隆志 (せき たかし)

1939年、京都市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。ルール大学大学院歴史学研究所博士課程修了(Dr. d. Phil.)。大阪市立大学名誉教授・宝塚造形芸術大学教授。アナトリア考古学協会名誉会員・ドイツ国立考古学研究所通信員。Lexicon Iconographicum Mythologiae Classicae (LIMC), Le Comité scientifique international (国際専門委員会) 委員。Kunstlexikon der Antike, Band 1 u. 2, K. G. Saur Verlag, 2001 u. 2004 (執筆担当)。

展覧会・美術展 特集

■第82回国展【彫刻部】

東京展 国立新美術館 2008.5.1(木)~12(月)
大阪展 大阪市立美術館 2008.6.10(火)~15(日)

美術学科卒業生・大学院生が受賞しました!



●新人賞・準会員推奨「夢のうしろ」松尾勇祐(卒業生)



●新海賞「鉄槌」堀 拓馬(大学院修士課程)



●入選「生」西村大喜(彫刻4年)



「シューニヤ(空)」
西村公泉
(彫刻コース教授・会員)



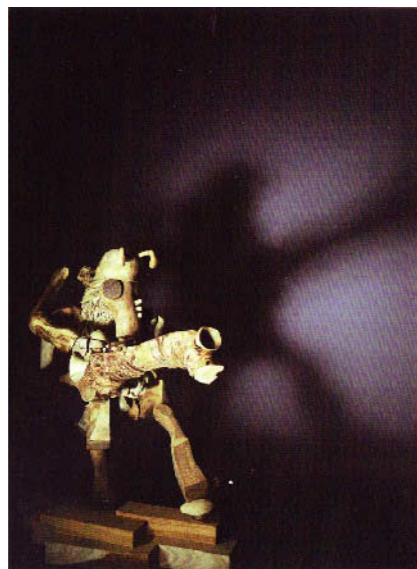
「黄金の大地」合田望(助教・会員)

第82回 国展【彫刻部】

■ 準会員出品



「各駅停車」 辰己忠良(卒業生・準会員)



「同士よ、君はどこから来た？」
難波爆(卒業生・準会員)



「アンダーグラウンド」
高田治(大学院修士課程・準会員)



「ジレンマはゆっくり時間をかけて「カタチ」になる」
丸山智史(卒業生・準会員)

第58回 モダンアート展

京都展 京都市美術館 2008.7.22(火)~27(日) / 巡回展(東京本展・福岡展・名古屋展)

本学大学院生が入選!



● 入選 「one more time#4」
山縣武(大学院修士課程)



「白い影—花散り、花咲く—」 加藤勝久(洋画コース教授・会員)



「雪マ」 中川知美(短期大学部卒業生・会員)



第61回 関西新制作展

兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 2008.5.3(土)~11(日)

洋画コース学生、大学院生、卒業生が入賞しました!



● 関西新作家賞 「L'ECLISSE」今崎順生(卒業生)



● 関西新作家賞 「emotion 08 - I (写真上)」 「emotion 08 - II (写真下)」
大原陽子(社会人大学院)



● 関西新作家賞 「由れる灰2(写真左)」 「由れる灰4(写真右)」 大澤悠二(洋画3年)

■ 会員出品

- 中村真夫(洋画コース教授)
- 西田周司(洋画コース教授)
- 市川悦也(彫刻コース教授)

■ 無鑑査出品

- 多養麻子(洋画4年) / 食野文子(洋画4年)

■ 入選

- 鷹野絵里 (大学院) 深田純平 (洋画4年)
- 野村素生 (大学院) 木原皓子 (洋画3年)
- 古川光優 (大学院) 熊谷衣里子 (洋画3年)
- 山岸恒雄 (大学院) 藤岡正浩 (洋画3年)
- 木村俊介 (卒業生) 中嶋純哉 (洋画3年)
- 真鍋紗季 (洋画4年) 小川友子 (洋画3年)
- 黒崎二美加 (洋画4年) 澁川元気 (洋画2年)

第61回 全関西行動展

大阪市立美術館 2008.5.7(水)~11(日) / 京都市美術館 2008.5.14(水)~21(水)

大学院修士課程の新谷友佳さんが「マルイ賞」「翌年度無鑑査」を受賞しました。

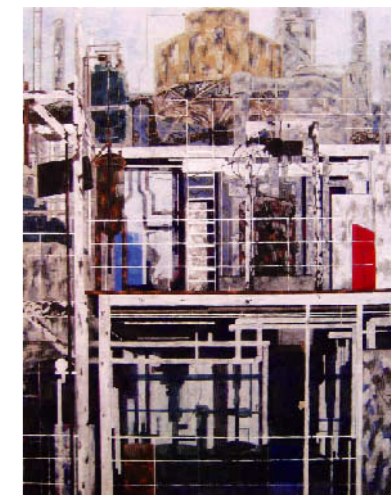


「女XIII」

● マルイ賞
「女XIV」

第54回 全関西美術展

大阪市立美術館 2008.7.8(火)~21(月)



● 佳作賞 「工場」 中川真一(日本画3年)

■ 入選 田中達也(大学院修士課程)